

令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立豊新小学校

小学校

児童数

61

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.21	19.38	34.32	43.08	46.36	9.36	147.50	22.04	53.70
大阪市	16.11	18.48	32.94	37.73	42.24	9.50	147.79	20.23	50.79
全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
女子	15.85	18.54	36.88	40.94	38.16	9.78	134.00	13.85	54.70
大阪市	16.00	17.64	37.71	36.25	34.55	9.70	140.60	12.84	52.81
全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64

結果の概要

今年度も全国体力運動能力調査においては、男子 女子とも全国平均よりも大幅に高く、前回の令和元年度の調査においても、男子が55.7 pで全国より2.1 p高く、女子は55.53 pで全国より0.5 p及ばなかったが、高い値を示していた。このような数値は、休み時間の様子、放課後の公園等の様子を見ただけでも、児童が日々運動に積極的にかかわっていることの結果であるとわかる。また、誰もが入れる地域のスポーツ活動があるのも大きい。学校以外の一日の運動時間も、土曜日・日曜日に、全国や大阪市平均に比べ、極端に高い。また、このコロナの影響は、子供たちの体力面には大きく表れている。男子は2 p下がり、女子も0.7 p下がっている。このことは、本校だけでなく、大阪市平均や全国平均も同様に1 p～2 p下がっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

運動の日常化をはかるために、遊具の整備、運動用具の整備、運動場の開放等を行ってきた。また、体育の時間には、運動量の確保も心がけてきた。今年度の体育的活動として、なわ跳び集会（週間）やかけ足集会（週間）を設け、全校で取り組むことで、児童の運動に親しむ心情を育み、主体的に運動に関わる児童も多い。現在「運動することが好き」「やや好き」と答える児童は男子で90.0%女子で83.7%と多いが、「嫌い」「やや嫌い」の児童への理由を問うと、体育の授業でうまくできないと答える児童が、圧倒的に多い。本校は、自信があるなしや得意不得意に関わらず、様々な運動を経験させること、体を動かす楽しさを味わせることが、体育学習の課題である。現在行っている体育的活動に加え、地域・PTAとも連携しながら、「勝ち負けにこだわらず、誰もが高まる喜びをかんじとれる」ような活動をこれからも考えていく。